

高 島 警 察 署 協 議 会 議 事 録

| | |
|------|---|
| 開催日時 | 令和3年9月30日(木) 午後1時30分から午後4時10分まで |
| 開催場所 | 高島警察署3階会議室及び警備艇「たかしま」内 |
| 委員 | 早川庄吉会長、下田悦生委員、岸本景子委員、清水浩子委員、 谷口きよみ委員、池田敦子委員 |
| 警察 | 署長、副署長、調査官（警務課長）、会計課長、生活安全課長、地域課長、 刑事課長、交通課長、警備課長 |
| 議事概要 | <p>1 開会の言葉</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>緊急事態宣言が今日までということで、開催すべきかどうか迷ったが、やはり委員の皆様のご貴重な意見を聞ける機会であるので実施することとした。管内は、事件・事故とも増加傾向であり、秋の交通安全運動期間中には死亡事故も発生した。8月には検挙はしたが殺人未遂事件も発生し、また、特殊詐欺も多発しており、治安的には大変厳しい状況にある。署員一同、引き続き積極的な検挙活動を行いつつ、関係団体、関係機関と連携して抑止活動を推進し、管内の治安維持に努めてまいりたい。本日は、この会議の後、第2部ということで、警備艇たかしまによる湖上パトロールも視察していただくこととしている。ぜひ、忌憚のない意見をお願いしたい。</p> <p>3 報告（令和3年8月末までの活動状況）</p> <p style="padding-left: 2em;">各課長から</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 犯罪発生状況と抑止対策、特殊詐欺防止啓発活動、情報発信、防犯教室の実施 ・ 交通事故防止対策と交通規制の見直し、交通指導取締りと適正な交通事故捜査 ・ 刑法犯、暴力団、薬物事犯の検挙状況 ・ 山岳・水難事故の発生状況、管内の実態把握・問題解決活動の推進 ・ 大規模災害に備えた諸対策、訓練の実施と在留外国人との共生対策 ・ 相談受理状況と若手警察官の育成に関する取組、広報活動状況、採用募集活動などについて説明があった。 <p>4 意見・要望等 (委員)</p> <p>刑事課の犯罪検挙状況の「認知したうちの検挙」とは、具体的にどういうことなのか。また、新人の警察官が9月に配属されるということは、大学卒業後、半年間警察学校に行かれるということなのか。どのようにして警察官になるのかということをお教えいただきたい。</p> |

(警察)

認知というのは、当署が事件を受理したということである。例えば、認知が2件、検挙が1件となっているとすると、検挙は1件で、残りの1件は捜査中ということになる。この統計は、年単位であるため、昨年発生したものを今年検挙することもある。

(警察)

大学を卒業した者の場合、警察学校での教養期間は6か月、高校を卒業した者は10か月となっている。

(委員)

生活安全課長の高齢者などの万引きについての説明の中で、「地域課員検挙」という説明があったが、地域課員というのは、どういった方々で、どのような活動をされているのか。

(警察)

地域課員とは、主に交番・駐在所で勤務している者で、湖や山の事故のほか、刑事事件、交通事故対応にも当たっている。一般の方が、町のお巡りさんと聞いて思い浮かぶのが地域課に所属する交番・駐在所で勤務する警察官である。

(委員)

刑事課の検挙件数は、95件で前年比プラス61件ということは、前年の3倍を検挙したということになるが、この背景と理由は何か。

(警察)

検挙件数の増加は、前年に発生した事件を今年になってから検挙、送致したことによる。

(委員)

高島町にある保育園前の道路に「ここに保育園があります」という趣旨のペインティングを書いてもらったらしいが、2年くらい前に要望を出して、ようやく実現したとのこと。要望が通るのに、これだけ時間がかかった理由をお聞きしたい。

(警察)

所管は道路管理者と思われる。

(委員)

1か月程前、母が在宅していた際に、高島警察署の生活安全課を名乗る者から電話があったそうだが、相手は母の下の名前まで知っていたらしく、非常に気味悪がっていた。特殊詐欺の予防のに関しては、今まで以上に広報活動をお願いしたい。

(委員)

私自身も、着信があった知らない番号に電話をしてしまったことがあるが、そうした電話番号の追跡調査は行っていないのか。

(警察)

する場合もある。

(警察)

犯人も、自分に直結する電話でかけてくるわけではない。したがって、昔と違い、今は電話番号からは犯人に辿りつくことは難しい。手口は極めて巧妙である。

(委員)

怪しい電話には答えないということが一番。

(警察)

携帯電話にショートメールが来ても返信をしないようにしてもらいたい。警察を名乗る電話をしてきて要件も言わず切るといった不審電話があることについて、情報発信は行っている。

(委員)

特殊詐欺を防止するには、留守番電話にしておけばいいという話を聞く。確かに、留守番電話にしておくと音声なしにプツンと切れる。

(警察)

電話口に出て耳元で喋られると心理的に信じてしまいやすくなるため、出ないというのが大事と思う。その対策として推奨するのが「留守番電話ポチっと作戦」と呼ばれるものである。

(警察)

今、県下で対策としてお願いしているのが、その「留守番電話ポチっと作戦」である。

留守番電話ボタンを押しておくだけというものだが、留守番電話機能が作動したとしても、受話器を取れば通常通話は可能であるので、対策としてぜひお願いしたい。

(委員)

あるお母さんからお聞きしたことを紹介したい。5年生の男の子が道端で100円を拾ったことから、お母さんと一緒に弘川の交番に届けに行った。その時の若いお巡りさんの対応がすごく親切で丁寧であり、そのお母さんはものすごく嬉しく思ったとのことである。お巡りさんがお金の大切さを子供に言い聞かせてくれ、いつもパトカーに乗っているお巡りさんが自分を褒めてくれたということで、その子はすごく喜んだとのことである。そうした親切丁寧な対応を目の当たりにし、地域の住民として、万が一の時にもすごく頼りにできるとおっしゃっていた。

(警察)

署員に対し、普段から心の籠った対応の大切さを教養しており、それがこのような対応に繋がったのだと思う。また、そのような対応により、将来、警察官志望の子供たちが増えてくれると嬉しい。

(委員)

7月5日に交通安全推進の一環として実施されていた「働く車の展示」の様子がテレビで放映されていた。そこで子供たちが「僕も大きくなったら警察官になりたい」というコメントを言っていた。

まず、若手育成のことにに関して話を伺ったが、家の前の三叉路は一旦停止の交通規制がある。学校を出て1年程度と思われる女性警察官が1人で違反者を止め、検挙する姿を見た。交番所長が昨年1年間、その若手警察官を指導されていたのを見て知っている。人材育成という観点で、その光景を見た時に、女性警察官が1年であのような対応ができるまでに成長されたということを感じ、素晴らしいなという思いを持った。

また、先ほども説明があったように、7月には空き巣被害が頻繁に発生したが、空き巣

から身を守るための広報を市の防災無線で流されており、非常にインパクトのある広報であった。

よく認知症の方が所在不明になったという案件の広報は聞いていたが、こういった空き巣の発生についても広報を流していただくと、市民の方も注意することとなり、良かったのではないかと思う。

広報関係では、9月8日にマキノの国道303号で発生した事故のため現場が通行止めになったが、これもいち早く広報をしていただいた。春先の新旭での事故、通行止めの際には、大渋滞が発生して事故処理等に関する批判があったが、それを受けての今回は、即、国道303号の車両事故について広報、対応されたことに感謝申し上げたい。

また、京都府警がトリックアートをを用いた横断歩道を採用しており、特に危険のある場所についてはトリックアートをを用いて立体的に見える横断歩道とし、非常に効果を発揮しているそうである。予算的なものもあると思うが、そういったものも取り入れたら良いのではないかなと思ひ、私の意見として申し上げたい。

(警察)

感謝申し上げます。引き続き、若手育成と情報発信に努めてまいりたい。

5 警備艇たかしま乗船

今津港より警備艇に乗船し、水上警察隊長から、県内の琵琶湖上における事件・事故の発生状況等について説明を受けながら、湖上パトロールを視察した。